

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【公開番号】特開2011-100058(P2011-100058A)

【公開日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2011-020

【出願番号】特願2009-256148(P2009-256148)

【国際特許分類】

G 02 B 21/06 (2006.01)

G 02 B 21/36 (2006.01)

G 01 N 21/64 (2006.01)

G 02 B 27/42 (2006.01)

【F I】

G 02 B 21/06

G 02 B 21/36

G 01 N 21/64 E

G 02 B 27/42

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月2日(2012.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レーザ光の波長を切り替える波長選択手段と、

該波長選択手段により切り替えられた波長のレーザ光が標本に照射されることにより、

標本において発生した蛍光をスペクトル成分に分光する分光手段と、

該分光手段により分光されたスペクトル成分をそれぞれ検出する複数のセルを有する光検出器と、

前記波長選択手段によるレーザ光の波長の切り替えに同期して前記光検出器のゲインを切り替えるゲイン切替手段とを備えるレーザ走査型顕微鏡。

【請求項2】

前記光検出器の複数のセルのうち少なくとも1つのセルを選択するセル選択部と、

前記波長選択手段によるレーザ光の波長の切り替えに同期して、前記セル選択部により選択されたセルによって検出されたスペクトル成分を合算する合算部とを備える請求項1に記載のレーザ走査型顕微鏡。

【請求項3】

前記ゲイン切替手段が、前記光検出器の各セルの感度を一括して調整する請求項1または請求項2に記載のレーザ走査型顕微鏡。

【請求項4】

前記ゲイン切替手段が、前記光検出器の各セルにより検出されたスペクトル成分の増幅率をそれぞれ調整する請求項1から請求項3のいずれかに記載のレーザ走査型顕微鏡。

【請求項5】

前記光検出器は、前記ゲイン切替手段により感度が調整された際に、その感度が安定するまでスペクトル成分の検出を待機する請求項3または請求項4に記載のレーザ走査型顕微鏡。

【請求項 6】

前記ゲイン切替手段が、前記レーザ光の照射領域ごとに前記光検出器のゲインを切り替える請求項 1 に記載のレーザ走査型顕微鏡。

【請求項 7】

同一の波長を有する前記レーザ光が照射される領域が複数ある場合、

前記ゲイン切替手段が、同一の波長を有する前記レーザ光においても照射領域ごとに前記光検出器のゲインを切り替える請求項 6 に記載のレーザ走査型顕微鏡。